

教育研究評議会議事録（第26回）

日 時：平成18年4月20日（木） 15時～17時20分

場 所：事務局第一会議室

出席者：平山，齋藤，玉，大野，菊地，高塚，砂山，星野，馬場，藤井，雑賀，井上，

杉浦，牧，村上，菅原，千葉，長谷川，井山，清水，高畑，上村，木村
欠 席：森

新委員及び陪席課長の紹介があった。

議 題

1. 国立大学法人岩手大学学則の一部を改正する学則（案）について

学長から，教員養成の質の保証を図り，全学的視点から教員養成の取組みを充実・強化するための新たな組織として岩手大学教員養成機構（仮称）の設置のための，国

立大学法人岩手大学学則の一部を改正する学則（案）についてが，提案された。

なお，学則改正に関連して，議題2及び議題3についても併せて内容説明する旨が述べられ，総務課長から配付資料1，2及び3に基づき説明があった。

次いで，学長から本議題については，3月20日開催の組織検討委員会において各学部の検討に付し本会議に意見を持ち寄ることとしたので，各学部の検討結果の報告を受け審議する旨が述べられ，各学部長から検討結果の報告があった。

審議において，教育研究組織検討ワーキンググループでの検討内容について，学部での検討を十分行いたいとの意見があった。

審議の結果、教育学部選出の評議員の出席を得て，教育研究組織検討ワーキンググループにおいて調整を図ることとし，本議題については継続審議とした。

2. 岩手大学教員養成機構学則（案）について

議題1に関連して審議し，継続審議とした。

3. 岩手大学教育推進本部規則の一部を改正する規則（案）について

議題1に関連して審議し，継続審議とした。

4. 学長選考会議委員の選出について

学長から，国立大学法人岩手大学学長選考会議規則第3条第2号に基づく，教育研

究評議会からの4名の委員の選出方法について、各学部の評議員のうちからそれぞれ

1名を推薦することとしたい旨が、提案された。

審議の結果、本提案を了承し、4月末日までに総務部総務課まで推薦者を報告することとした。

なお、学長から今後の手続については、次回教育研究評議会でも各学部からの推薦者について審議すること、また、経営協議会からの委員については、6月2日開催予定

の第10回経営協議会で選出予定であること及び理事選出委員については、次回教育研究評議会に報告したい旨の付言があった。

5. 経営協議会委員（学外の者）の選考について

学長から、岩手大学経営協議会委員（学外の者）として、放送大学教育振興会理事長 井上 孝美 氏、ベリーノホテル一関代表取締役社長 齋藤 哲子 氏、岩手銀行代表取締役頭取 永野勝美 氏、岩手大学名誉教授（前 岩手県教育委員会委員長） 船越 昭治 氏、(株)川徳常務取締役営業統括 吉田 浩次 氏について選考した旨説明の後、岩手大学経営協議会規則第3条第3号の規定に基づき、提案があった。

審議の結果、本提案を了承した。

6. その他

なし

報 告

1. 平成18年度岩手大学入学者選抜の実施結果について

玉理事から、平成18年度岩手大学入学者選抜の実施結果について、配付資料6に

基づき報告があった。

2. 役員会（第69、70、71、72、73回）報告について

学長から、3月22日、3月28日、3月30日、4月4日及び4月11日開催の同会議の概要について、配付資料7に基づき報告があった。

3. 学長・副学長会議（第89、90回）報告について

学長から、3月28日及び4月11日開催の同会議の概要について、配付資料8に

基づき報告があった。

4. 経営協議会（第9回）報告について

学長から、3月30日開催の同会議の審議概要について、配付資料9に基づき報告があった。

5. 経営協議会（第10回）の開催について（追加）

学長から、第10回経営協議会を6月2日（金）に開催予定である旨、報告があった。

6. 組織検討委員会報告について

学長から、3月20日開催の同会議の審議概要について、次のとおり報告があった。

① 教員養成の機能を統合し学部横断的に取り組む新たな組織として岩手大学教員養成機構（仮称）の設置を了承したこと

② 全学一元的教員組織について、学系所属についての意向調査のアンケート実施結果の報告があったこと、及び学系の機能や性格付け、運営体制を明確化し、今後の方向性について了承したこと。また、学系に対する相互理解を深めるため、各学部での説明会など周知する機会を増やすこととしたこと

③ 教育学研究科の教員配置について、大学院設置基準に定める配置教員数を満たすための対応として、平成18年度に限り大学教育総合センター教員（3名）及び地域連携推進センター教員（2名）を教育学研究科担当としたこと

7. 工学部附属鑄造技術研究センター寄付研究部門（新技術応用展開部門）の設置につ

いて

齋藤理事から、工学部附属鑄造技術研究センター寄付研究部門（新技術応用展開部

門）の設置について、配付資料10に基づき、報告があった。

8. その他

・ 玉理事から、現代的教育ニーズ取組支援プログラムに対し「持続可能な社会のた

めの教養教育の再構築—「学びの銀河」プロジェクト」を、及び特色ある大学教育

支援プログラムに対し「学生提案プロジェクトの課程教育への接続」、（副題）
「賢

治の心」を育てる、「Let'sびぎんプロジェクト」を申請した旨、報告があった。

・井上委員から、平成18年度の学長裁量経費の基本方針を示してほしい旨の要望があり、学長から次回教育研究評議会ですしたい旨の発言があった。

次回教育研究評議会の開催について

次回教育研究評議会は、5月18日（木）15時から開催することとした。